

WAKKANAI CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY
企業を育て 地域を伸ばす 商工会議所



(URL : http://www.wakkanai-cci.or.jp)

会議所報

第181号

発行所
稚内商工会議所
稚内中小企業相談所

稚内市中央2-4-8
TEL (0162) 23-4400
FAX (0162) 22-3300
E-mail:wcci@rose.ocn.ne.jp

令和5年5月発行

事業計画・収支予算

第147回通常議員総会が3月31日、当所会議室で開催され、新年度の事業計画並びに収支予算他の議案が審議されました。

開会にあたり、中田会頭より、「燃料や原材料費など物価高騰の中、人手不足も重なり会員企業は厳しい事業運営を余儀なくされていると推察している。一方でコロナ感染症は5月から「2類」から「5類」に移行されるなど、潮目が変わって来ており、細心の注意は必要であるものの、コロナと共生しながら地域活動を行う事が一番の経済対策と認識



中田会頭挨拶

しており、来年度こそコロナを乗り越え、地域経済の新たな

な成長軌道へのスタートとなる事を願っている。本日の議事は、事業計画・収支予算に加え、市の立地適正化計画の策定を踏まえ、南地区の賑わい創出に向けた特別委員会の設置を提案させて頂きますので、「審議の程お願いしたい」と挨拶。その後、事業計画・収支予算と「南地区再開発調査検討特別委員会の設置」について審議され、原案通り承認可決されました。

新年度の基本方針（3つの重点）と実施細目の新規細目は次のとおりです。

1. 地域振興のための意見・政策提言活動の展開
 - ・ 機動的な陳情活動の実施
 - ・ 各部会、委員会等による政策諸課題への対応
 - ・ 各種調査による経営課題の把握
2. 地域経済活性化事業の推進
 - ・ 伴走型経営支援事業の強化

- ・ 地域企業の活用向上
- ・ キャリア教育の推進
- ・ 各種イベント事業への協力、支援
- 3. 商工会議所運営基盤の強化
 - ・ 会員拡大と会員サービスの充実
 - ・ 各種団体との連携強化と交流事業、諸会議等の開催
 - ・ 道内外商工会議所とのネットワーク拡大
- 2. 地域基盤整備及び都市機能の充実
 - ・ 人手不足を補う機械導入に係る助成制度の創設
 - (2) 都市（産業）基盤施設の整備及び機能向上
 - ・ 津波等災害時の避難訓練等の取組み強化
 - (3) 環境・エネルギー施策の確立
 - ・ 民間の省、再エネ設備への更新、導入に対する支援

●事業実施項目 新規細目 特別提案

1. 地域経済活性化対策
 - ・ エネルギー価格及び物価高騰に係る経済対策の強化促進
 - ・ 稚内市の脱炭素先行地域計画の促進
 - ・ グリーンカーボン、ブルーカーボン等広範な脱炭素の取組み促進
2. 地域経済活性化対策
 - ・ 商工業振興対策の推進

【令和5年度一般会計収支予算書】

収入の部

科目 款・項・目	本年度予算額(円)
1. 会費	31,280,000
2. 事業収入	6,250,000
3. 委託金	2,620,000
4. 雑収入	200,000
5. 繰入金	8,410,000
6. 繰越金	1,750,000
収入合計	50,510,000

支出の部

科目 款・項・目	本年度予算額(円)
1. 事業費	7,340,000
2. 給与費	10,530,000
3. その他の管理費	14,770,000
4. 繰出金	16,660,000
5. 積立金	1,090,000
6. 予備費	120,000
支出合計	50,510,000

南地区調査検討特別委員会 第1回委員会を開催

南地区調査検討特別委員会第1回委員会を4月25日、当所会議室で開催しました。本委員会は、南地区においても海員会館の閉鎖をはじめ空き家や空き地が増加する状況を鑑み、将来の南地区の在り方を調査検討し、持続可能なまちづくりに資する事を目的に当所議員総会において設置承認され、この度、第1回目の委員会の開催となりました。

初めに、構成メンバーに選任された委員6名、オブザーバー2名に中田会頭より委嘱状を交付し中田会頭より「中央地区は新庁舎建設を含め、新たな姿が見えてきているが、南地区は海員会館を始め、空き家や空き地が目立ってきており、今後の南地区再開発構想案を年度末の稚内市への提言に向け、議論して頂きたい」と挨拶。続いて委員長に選任された(株)金物商事本山委員長より「限られた期間ですが、南地区を良くするために、委員の皆様のご知恵とお力を貸して頂きたい」と挨拶し、今後の進め方等について協議されました。本委員会は令和6年3月ま



本山委員長挨拶

での1年間の活動期間となっており、令和6年2月までに最終報告を取り纏め、商工会議所より稚内市へ提言する予定となっております。本委員会の委員・オブザーバーは次のとおりです。

○委員長
本山哲司(株)金物商事代表取締役

○副委員長
坂原勇次(米倉水産(株)代表取締役社長、藤田隆明(藤建設(株)代表取締役社長)

○委員
永井由美子(北海ビジネス(株)社長、中居利文(株)ホクタン代表取締役社長、辻井光雄(わかば商事(株)代表取締役社長)

○オブザーバー
武藤尚(稚内商工会議所青年部、(株)武藤はくぜん代表取締役)、山田宜幸(稚内信用金庫 営業戦略センター主任調査役)

北海道縦貫・横断道の全線開通の早期実現に向けて 最東端・根室商工会議所と連携しサミット開催

★最東端・最北端 サミット開催

1月11日に根室商工会館を会場に「最東端(根室)・最北端(稚内) 持続可能なまちづくりサミット」が、両市会議所、青年部、観光協会、道路を活用した地域活性化に取り組みするシニアネットワーク運営団体、オブザーバーの開発建設部など30人が参加して開催されました。



開会挨拶をする中田会頭

冒頭、中田会頭から「最東端、最北端の『生産空間』に人が住み続けることの意味を改めて発信し、両端地域の未来に夢と希望をつなぐ機会としたい」、根室商工会議所の山田康志会頭も「北海道を縦と横につなぐ道路は北海道の

肝となる路線。早期実現を期待すること挨拶。その後、「第九期北海道総合開発計画に期待する北海道縦貫・横断道路ネットワーク」をテーマに①経済、②観光、③将来ビジョンの三分科会で意見交換を行った。分科会討議の発表を行い、両地域の共通課題を地域の声として北海道開発局(札幌)へ届けることを確認して閉会した。

★「地域の声」を 道開発局長へ

1月26日、中田(稚内)・山田(根室)の両会頭をはじめサミットに参加した各団体の代表など8名が石塚宗司北海道開発局長を訪問し、先のサミットで確認した内容として、北海道縦貫・横断道路の延伸による交通ネットワークの早期実現を図ってもらうよう、現在策定作業が進められている次期の第九期北海道総合計画に「生産空間を持続可能にしたい」という地域の声に特段の配慮を」と要望を行った。これに対し石塚局長は「北端・稚内と東端・根室の両会



石塚局長(中央)、中田(左)・山田根室会頭(右)

議所が一堂に会し課題を共有し在るべき姿を検討されたことは極めて画期的で新しい取り組み」とした上で「両地域は優れた生産空間であり、その稼ぐ力が北海道、日本を牽引していく高いポテンシャルを感じている。さらに、両地域に人が定住し続けるための施策は重要。次期計画を策定するプロセスの中で、地域の意見をしっかりと聴く事となっており、こうした場で地域の声をお伝えいただくことは極めて重要。本省にもしっかりと伝える」と所見を述べた。

現在策定作業が進む第九期北海道総合開発計画は令和5年度中に閣議決定を経て策定されることとなっており、引き続き、陳情要望活動を積極的にを行い、全線開通の早期実現を図ることとしている。

青年部定期総会を開催

稚内商工会議所青年部定期総会が、4月24日に稚内商工会議所にて開催されました。開会にあたり佐々木会長は「コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻、加えて超少子高齢化等、企業や地域社会の在り方は大きな改革が必要なか中、我々青年部に求められる役割は益々大きくなっています。地域を支える青年経済人として、日々研鑽を重ね、様々な課題を解決し、地域のリーダーとして活躍し、持続可能な街づくりを皆さんと目指していききたいです」と挨拶。引き続き佐々木会長を議長に議事に入り、新年度の事業計画・収支予算他について原案通り承認され、新会員を含めた計46名によるスタートとなりました。

総会終了後、懇親会を開催。

【令和4年度 卒業会員】 (氏名五十音順)

氏名	企業名
飯 沼 剛	石塚建設興業(株)
奥 田 貴 也	(株)奥田屋
梶 隆 一	(株)稚内グランドホテル
澤 野 宏 樹	(有)沢野豆腐店
島 田 聖	島田商事(株)
神 誠 二	たつみ食品(株)
山 田 一 也	アシス社会保険労務士事務所
渡 邊 裕 道	(株)渡辺設備工業

これまでの活動お疲れ様でした。

【令和5年度 新会員】 (氏名五十音順)

氏名	企業名
加 藤 晃 康	(株)れんげ堂
木 村 修 太	(有)木村石油
桑 田 大 介	稚内信用金庫

今後の活動へのご協力をお願いします。



来賓に中田会頭、今村副会頭をお招きし、中田会頭の挨拶後、今村副会頭から乾杯のご発声を頂きました。また、令和4年度で満50歳を迎えた卒業会員の方もお招きし、お祝いとして、記念品を贈呈しました。その後、飯崎副会長の締めくまりの挨拶で閉会となりました。

女性会だより

◆女性会総会を開催

『新会長に 出村文江さん就任』

稚内商工会議所女性会の令和5年度定時総会は、去る4月25日、車屋・源氏で開催されました。

総会では、東方会長より開会挨拶のあと、議事に入り各議案とも原案どおり承認可決され、また、役員の任期満了に伴う改選では、新会長に出村文江さんが就任されました。その後、出村新会長からは、就任に当たって、稚内で13年振りに開催されます「全道商工会議所女性会研修交流会」の抱負が述べられました。

また、総会にご来賓として今村副会頭・石塚副会頭にお越しただいており、今村副会頭には、ご祝辞もいただいております。



出村新会長より挨拶

～女性会の活動状況～

◎新役員は次のとおり。

- ・ 会 長 出 村 文 江
- ・ 副 会 長 川 口 ひろみ
- ・ 理 事 前 田 信 子
- ・ 理 事 杉 川 敦 子
- ・ 理 事 総 務 委 員 長 東 方 文 子
- ・ 理 事 総 務 副 委 員 長 増 田 信 子
- ・ 理 事 事 業 委 員 長 小 原 伊 子
- ・ 理 事 事 業 副 委 員 長 風 無 光 子
- ・ 理 事 山 田 恵 睦
- ・ 理 事 中 品 八 重 子
- ・ 理 事 厚 生 委 員 長 品 田 八 重 子
- ・ 理 事 厚 生 副 委 員 長 鈴 木 園 子
- ・ 監 事 藤 田 信 子
- ・ 監 事 小 鹿 千 恵 子
- ・ 監 事 奈 良 ひとみ

議員職務執行者の変更

次の方が新たに議員へ就任致しました。

平田 純一 議員 (株)明治
稚内工場工場長
(令和5年4月付)



今後の議員活動へのご協力、お願い申し上げます。

稚内商工会議所 創立75周年記念講演・祝賀会を開催

当商工会議所は昭和23年12月7日に当時の商工大臣より設立認可を受け、創立以来、令和5年をもって記念すべき75周年を迎えます。多くの先人が築いてきたこの節目に、さらに大きく飛躍することを決意し、次のとおり記念講演会・祝賀会を実施いたします。

◎開催日

令和5年6月10日(土)

◎場 所

サフィールホテル稚内

◎記念講演

午後3時00分

〈演題〉

「北海道開発を巡る 最近の話題」

〈講師〉

国土交通省北海道開発局 局長 石塚宗司 様

◎祝賀会

午後6時00分

記念講演は、皆様にご参加頂けますので、是非お申し込みの上ご出席の程お願い致します。なお、祝賀会は当所役員議員並びに来賓をお招きし開催致します。

市道へ「公共事業の早期発注と地元中小企業への受注機会の増大」要望を実施

当所と宗谷管内商工会連合会と連名で、稚内開発建設部、宗谷総合振興局、稚内市（市は商工会議所単独要望）に対し年度当初に実施している、地元経済の下支えとなる「公共事業の早期発注と地元中小企業への受注機会の増大」要望会を、4月7日に行った。



稚内開発建設部佐々木部長(左)へ要望書を手交する中田会頭・中村会長

当所からは中田会頭・中場副会頭・石塚副会頭・達専専務理事・政策運営委員会の富田委員長・東海副委員長・杉川副委員長が出席。稚内開発建設部、宗谷総合振興局へは宗谷管内商工会連合会の中村会長、小神副会長、松永副会長と共に訪問し、それぞれ要望書を提出。稚内開建への要望では、中田会頭より、「宗谷管内の道路、港湾、空港、農業を始めとした社会資本整備は、地域産業の振興に欠かすことが出来ない

もの。特に豊富北稚内間の高規格化、稚内空港とのアクセス強化につきましても早期の調査促進をお願いしたい」と挨拶。稚内開発建設部、佐々木部長より「本年度予算は、前年度を上回る予算が配分されている。ご要望の内容を受け止め、引き続き安全で安心な街づくりのため、必要な社会資本整備を計画的に進めて参りたい」と挨拶があった。

宗谷総合振興局、辻井局長からは「公共事業の管内発注率は90%を越えている状況で維持していきたい。管内経済は物価高騰で事業者を取り巻く経営環境は大変厳しいものと認識している。振興局としては、観光誘客や食の販路拡大に向けた首都圏等でのプロモーション、人手不足対策も引き続き取り組んでいく」と挨拶。稚内市、工藤市長からは「公共事業の早期発注について、4月11日に本年度1回目の入札を行う事となっている。公共事業の役割は大きいと思っております。引き続き早期発注に努めて行きたい」と挨拶。その後、各所で懇談が行われ、活発な意見交換が行われた。

持続可能な稚内(まち)づくり講演会開催!

4月24日、当所にて、持続可能な稚内(まち)づくり講演会を開催各位50名が参加し開催しました。

開会にあたり中田会頭は「高規格幹線道路の有益性とミッドシングリンク解消の効果を再確認し、さらにその機運を高める機会となることを期待している」と挨拶。

その後、講師の北海道大学工学研究土木工学部門先端社会システム萩原亨教授より、「宗谷エリアにおける高速度道路整備の必要性(番外編)」と題して講演。

宗谷地域においては、地理的な観点から国境を有する価値に加え、物流の支援や災害時の対応など様々な角度から価値を定義し、量化し、関係各所に示していくことが重要であるとのご講演を頂きました。



萩原教授より講演

アクサ生命

がんにならずに、人生を歩むために。

経営者ご自身と会社を守るがん保険

アクサの 治療保障の がん保険 マイセラピー

ガン治療保険(無解約払いもどし金型)

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(甲慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社 旭川支社 旭川営業所稚内分室 〒097-0016 北海道稚内市萩見5丁目23-11 TEL0162-34-5570

●お引受けには所定の条件があります。本商品をご検討の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 AXA: A1-1903-0522/9F7